

みはま支援学校 学校運営協議会

令和3年度 第3回【11月6日(土)】10:10~12:10

出席者：委員4名 事務局員1名(教頭)

議題

- ①校長挨拶
- ②文化祭舞台発表参観
- ③みはまマルシェ(作品展示・販売)見学
- ④文化祭について質疑応答と協議
- ⑤社会に開かれた学校 ~地域の人的・物的資源の活用~ について協議

議論した主な内容

○文化祭について

舞台発表に向けた各学部の取組や作品展示・販売に向けてのものづくりの取組について説明

→・がんばりと新鮮さを感じ、学生の頃を思い出しました。

・音楽は価値観で交流し合えるもので、中学校で披露してもらいたい。感動が予想されるとともに、みはま支援学校を知ることができる。生徒の状況を見ながら、外部資源の活用の視点で、考えたらどうでしょう。

○社会に開かれた学校 ~地域の人的・物的資源~

防災への取組やキャリア教育、進路支援、生活の質の向上(QOL)に対しての各学部の取組と職場環境について説明。

→・短期間に課題に対して取り組まれていることにびっくりし、自身の職場での防災の取組等を高めていかなければと思わされた。

・学校の教職員の雰囲気がいいというのは、活性化につながるもの。「安心できるこの場所で 希望をつかもう 明るい未来に向かって」といったキャッチフレーズの実現に向けたプロセスの中で成し遂げられてきたと捉えます。

・職場環境で、職員の仲がいいのが一番だと思います。感情で突き刺し合う状況を子供たちも感じ取ると思います。職場の雰囲気がいいということは、スムーズに事が運べる元になります。



- ・感動してもらえる文化祭へのプロセス
- ・感動を地域へ
- ・卒業後の支援(在学中から社会につなぐゆるやかな移行)
- ・職場の雰囲気

今後の予定

第4回 令和4年2月18日(金) 10:00～

